



さかい輪

第6号

平成21年3月

発行責任者

柳澤 讓

ホタル飛び交う一番堀めざして

地域の知恵と力できれいな流れに

旧国道一一六号の南側を、これとほぼ並行して、東西約二・六kmに亘って一番堀排水路が設けられています。この堀の美化事業は、当協議会が平成19年から新潟市の助成金を得て取り組んでいるもので、さきの全国コミュニティ政策学会総会の際の視察地となるなど、活動の成果が注目されています。

堀の普段の状態

○幅員・構造 場所によって区々で、底の造りも舗装部分無舗装部分入り交じり、一定していません。

○水の流れ 雨水、地下水、家庭排水のほか、随所に鉄分や油分を含んだ湧水・滲出が見られます。

一方、堀の水は至る所で大堀に向う「背割排水路」に流れ、堀を一貫する水流はありません。

○水質 澄んだ所、赤色の所、油分を含んだ所と区々で、廃棄物も加わって概して汚れが目立ちます。



①雑草繁茂 ②背割り排水路 ③油分と鉄分



取り組みのあらまし

○美化活動 水路・周辺では従来に引き続き、近接自治会を中心に、行政との協働で美化に取り組んでいます。

○水質浄化 上坂井自治会の区域内で、堀を堰止めて水を溜めた結果、緋鯉が生息できるほどにはなることが分かりました。これと並行して、浸透枡やソーラー発電機で地下水を汲み上げてピオトープを造り、ホタルの飼育・放出の試みを成功させました。(第2面に関連記事)

同様の取り組みは、緑ヶ丘自治会の皆さんの手で、新通小学校グラウンド脇でも始まっています。成功が待たれます。



①緋鯉 ②ソーラー発電 ③ホタルピオトープ ④水車で浄化 ⑤かわいいお客様





平成20年度、坂井輪中学校区コミュニティ協議会では、

- 構成団体および会員の連携・協力
- 行政との協働
- 安心・安全で活力ある地域社会づくり

をめざして活動してきました。
年度の終わりにあたり、この間における主な活動のあらましを報告します。

8月23日・11月8日

健康づくり講座

新潟市食育・健康づくり補助事業として実施。
両回とも、参加者はまず坂井輪診療所のご協力で、「インボディ」という、一発で体成分の分かる測定装置で測定。その後一回目は、安達哲夫先生の「健康な体づくり」と題するお話を聴き、更に食生活改善推進委員の皆さんによる軽食を採り、二回目は、神成康一先生の「歯と体の健康」についてお話を聴きました。



体成分測定後に聞く健康な体づくりの講演

4月17日

新一年生交通安全教室

新通(午前)、坂井東(午後)両小学校の新一年生を対象に、西警察署交通課・西区役所総務課の方々の指導で、教室が開かれました。
新通では付近の実地の道路、坂井東では体育館内に設けた仮りの道路で、先生・保護者・交通安全協会の方々の介添えで、右側通行や横断歩道の渡りかたなどを学びました。



ほらほら車が来ましたよ

信号をよく見て横断歩道を渡りましょう



6月15日・11月15日

地域に花を植える活動

区役所・消防出張所・新大前駅に設置したプランターに、地域の小・中学生や、自治会の方々が植栽を行いました。春から夏にかけてはベコニの花盛り。秋はパンジーとチューリップの球根を植えました。



区役所入り口は年中花盛り

春、プランターに花を植える子ども達



6月28日

ホタル鑑賞会

百人を超える老若が集まった鑑賞会。一番堀の夕べにホタルが舞い、初めて見る子ども達は大喜びでした。現在ビオトープでは、去年夏に舞った親が産んだ幼虫が羽化の日を待っています。



6月28日一番堀に飛んだホタル

ホテルおじさんのお話を熱心に聞く子ども達



6月11日・11月6日

地域座談会

西区役所の呼びかけで「暮らしやすいまちづくり」を目指し、福祉・健康の分野を中心に、現状や課題を探り、解決策を見出そう」と、穂波の里で、自治会長、民生委員などの関係者が話し合いをしました。その成果は、西区地域福祉計画・同活動計画のなかの「坂井輪コミ協地域別計画」としてまとめられ、近く実施の運びとなる予定です。



9月4日

ザリガニ釣り大会

グリーンシグマ(株)のビオトープで、二十七名の小・中学生が参加して開催しました。



みんななどろんこになっての大奮闘。さて、その成果のほどは？

5月・11月

西区新鮮あさ市が大好評

地元農家自慢の朝採り野菜や果物が、安くておもしろいと大好評。毎週日曜日7時開店売り切れ次第閉店です。



2月22日

おはよう朝ごはん料理講習会

20組の親子が参加して、西区役所で開催しました。はじめに神戸律子さんの「朝ごはん食べた？朝ごはんはぐくむ心と体」と題する講演を聴きました。次いで料理実習では、「食べてビックリおいしい朝ごはん」なるメニューで具だくさんの味噌汁・とっさりオムレツ・ヨーグルトサラダづくりに取り組みました。



熱心にお話を聞く参加者

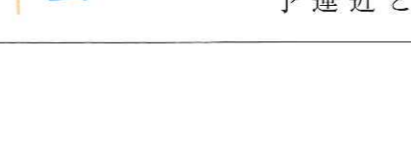


朝ごはんをつくりましょう

10月11日

交通安全自転車競技大会

坂井輪中学校体育館を会場に、小学生三十六名の参加者は、自転車の整備点検、警察署、区役所の係の方から指導を受け、安全走行や、バランス、転回・ジグザグ走行などで技を競いました。



10月7日

坂井輪ふれあいまつり

朝からの激しい雨で、開催が危ぶまれましたが、徐々に回復に向かい、舞台芸能、フリーマーケットと大にぎわい。恒例のクイズ、福引きも予定どおり行われまし



10月11日

交通安全自転車競技大会

坂井輪中学校体育館を会場に、小学生三十六名の参加者は、自転車の整備点検、警察署、区役所の係の方から指導を受け、安全走行や、バランス、転回・ジグザグ走行などで技を競いました。



坂井輪中学校体育館を会場に、小学生三十六名の参加者は、自転車の整備点検、警察署、区役所の係の方から指導を受け、安全走行や、バランス、転回・ジグザグ走行などで技を競いました。

11月6日

寺尾地下道に絵画展示

地域内の合わせて九つの幼稚園・保育園・小中学校の子ども達の力作を、二ヶ月替わりで展示。地下道ギヤラリーで豊かな発想・創造力の結晶を是非ご鑑賞ください。



地域内の合わせて九つの幼稚園・保育園・小中学校の子ども達の力作を、二ヶ月替わりで展示。地下道ギヤラリーで豊かな発想・創造力の結晶を是非ご鑑賞ください。



つづき

8月30日

ぼっけん遊び場
「坂井輪プレーパーク」

坂井東小学校グラウンドを
会場に、

☆ぼっけんやぐら(滑り台)

プレーパークに出現した坂井輪の大やぐら



☆おもしろ自転車コーナー
☆木工・ダンボール細工コーナー
☆水遊びプール
の四つの遊び場を設けて、一日限りのプレーパークを開催しました。



当日は、大人、子ども合わせて約五〇〇人の参加者が、流しそうめんの昼食を挟んで、思い思いの場所で楽しい半日を過ごしました。



↑おもしろ自転車
↑県産杉間伐材で木工細工

プレーパークとは

「子どもはこぎれいな遊び場よりも、がらくたの転がっている空き地などで遊ぶことを喜ぶ」という観察に基づいてデンマークで創始され、その後日本の各地に広がりました。

プレーパークの考え方は、危険があるから、子どもが自ら注意するし、冒険心、挑戦心も湧く。

- 少しづつ試してみるから、自分ができること、できないことが分かる。
- 一人ではできないことは仲間と協力することでできることを覚える。
- 小さなケガを繰り返す中で、大きな事故から身を守る術を本能的に身につける。
- 主、自発による活動を、大人がみんなど見守ってやること、大切とされます。

12月7日
ストップ地球温暖化!
僕達にできること

地球温暖化防止に向けて、自分たちに何ができるか、坂井輪地区公民館で子ども達が精一杯取り組みました。
第一部 小学生による演劇
銀ちゃんの冒険



パネルディスカッション

第二部 中学生による討論
〜僕達にできること〜
五名の坂井輪中学校の生徒とPTA会長の皆さんが、坂井東小学校教頭先生をコーディネーターに、パネルディスカッションを行いました。

参加した坂井東小学校四年生十三人は、人間が排出するCO₂の被害に怒る動物たちの役を、見事に演じました。衣装は近所の方々が手作りでご用意くださいました。鑑賞された地域の方々から「とても良かった」という言葉をたくさんいただきました。
討論は、日ごろの思いや、勉強会での研究成果をもとに☆森林伐採と温暖化 ☆ごみ問題 ☆エネルギー問題 ☆生活様式の今昔などが話し合われました。
真剣でレベルの高い内容は聴衆に深い感銘を与えました。

あとがき

▽三月は、多くの官庁・会社・団体などの年度末。▽コミ協も平成二十一年度を迎え気分も新たに地域の皆様とともに安全・安心なまちづくりについて努力します。▽この広報紙に対しても、遠慮のないご叱声、ご批判をいただき、役立つ紙面作りを目指します。